高Ｐ連会報

発行者　宮城県高等学校ＰＴＡ連合会
仙台市宮城野区幸町４－５－１
宮城県青年会館内
TEL・FAX　022－299－4621
E-mail：miyagikopren@ia2.itkeeper.ne.jp
印　刷　創文印刷出版株式会社
仙台市青葉区春日町８－34
TEL　022－222－0181
発行日　平成28年２月18日（木）

高Ｐ連は豊かな育ちを支えている

宮城県高等学校ＰＴＡ連合会顧問　渡　辺　尚　人
（仙台向山高校校長）

平成26、27年度の二年間、仙台向山高等学校が高Ｐ連の事務局を担当しました。野田もと子前会長、嶺岸若夫現会長のご尽力はもちろん、各支部や単Ｐなど様々な方々からご支援をいただき、総会やフェスティバルなどを成功裡に終えることができましたことに改めて感謝申し上げます。

今年度の高Ｐ連の活動を振り返ると、もっとも印象に残っているのは「みやぎ高校フェスティバル2015」の開催です。昨年10月15日、楽楽楽ホールにおよそ400名を集めて開催しましたが、「生き抜く力の源泉」と題した石川太郎氏の講演がとても味わい深く、家族とは何か、生きるとはどういうことなのかを考えさせられました。

午後の支部の活動報告もそれに勝るとも劣らない充実した内容でした。東日本大震災で被災した支部の代表が、未来に向かって力強く進みつつある活動の様子を語り、また、高校生が保護者とともにステージに上がってプレゼンテーションや演舞を行い、会場を大いに盛り上げました。

PTA活動は保護者と教職員が結んで行うものですが、その中核として両者を結ぶのは高校生という存在です。まだ成長途上の未成年ということもあって、未熟な面が目につきがちですが、これは今に限ったことではありません。エジプトのピラミッド内にも「近頃の若者は」というような落書きがあったと聞いています。これをお読みになっている皆さんも、今の高校生はまじめだがチャレンジ精神に乏しい、素直だが挫折するとなかなか立ち直ることができないなどという話を、聞いたことがあるかもしれません。

しかし、今の高校生も大きなエネルギーを秘め、可能性に満ちています。高校時代は自分とは何者かと悩みながら生きる多感な時期で、私たち大人の想像を超えて躍動することがあります。これは教員にとっても嬉しい誤算ですが、年に何度か、このような場面に遭遇することがあります。今年も「みやぎ高校フェスティバル2015」のステージで八鹿踊を舞う高校生の姿を見ながら、高校生の可能性に思いを馳せることができました。

今の高校生は一般に素直で優しく、表現力に優れています。それをどのような形で花開かせていくのか、それが、保護者と教職員に課せられた大きな課題でもあります。

高校生は家庭で育てられ、学校で育てられ、地域で育てられます。この三者が互いの役割を自覚し、互いに協力することによって、高校生は豊かに、たくましく育っていきます。その豊かな育ちを支えるのが、この高Ｐ連の諸活動なのだと私は考えています。

高校生を核としながら、保護者と教職員が結びついているこの高Ｐ連の活動が、さらに活性化していくことを期待しています。

平成27年事務局長研修会報告

担当校事務局長　亀井　嘉昭（石巻好文館高）

平成27年度の事務局長研修会が、12月３日(木)東松島市コミュニティーセンターを会場に開催された。今年度、石巻支部が主管となり、石巻好文館高校が担当した。

例年に倣って午前中は講演、午後は研究協議を設定した。講演は東松島市から総務課行政専門員の小野弘行氏をお迎えし、「東松島市の震災対応」について詳しいお話をいただいた。小野氏は震災当時の東松島市総務部長として市の災害対策本部で陣頭指揮にあたられた経験から、大規模災害時の初動体制、復興に向けて市民協働の町づくりなど、東松島市の先進的な取り組みについて詳しくお話しをしていただいた。各単Ｐでも防災教育について一層の充実が叫ばれている昨今、今回の講演を各学校の防災計画にも役立てられるのではないかと思った。

午後の研究協議では「ＰＴＡ活動の現状と活性化に向けて」をテーマに、６支部の代表校からそれぞれ話題提供をもとに意見交換がおこなわれた。とりわけ、ＰＴＡ総会での出席率改善に向け、各校が苦心しながらも工夫を重ねている取り組みが参加者の印象に残った。

関係各位にあらためて感謝申し上げるとともに、各単Ｐ活動の充実発展を祈念して報告といたします。

6支部研修会、趣向をこらして

仙塩支部

「感動」と「学び」の会員研修会

支部長　豊嶋　　修（仙台高）

初冬の暖かな日差しのなか、仙塩支部会員研修会は仙台市福祉プラザふれあいホールを会場に、嶺岸県高Ｐ連会長・小笠原県高Ｐ連事務局長・石塚県教育庁生涯学習課課長補佐のご臨席を賜り、170余名の参加を得て開催されました。

記念講演講師に仙台高OBで日本テレビチーフディレクターの武澤忠氏をお迎えして、

武澤忠氏の講演風景

「生きてやろうじゃないの！～逞しき母親と家族の絆～」と題し、ドキュメンタリーフィルム上映とお話しを頂きました。

武澤氏のご母堂が家族の絆を支えに震災の絶望から逞しい再生への決意へと変わっていく様を映像で目の当たりにし、そして氏とご母堂の「今を生きる」高校生と我々保護者に向けた熱いメッセージ「あらゆることに意味がある。人生に何一つ無駄は無い」を感動・涙と共に参加者一同しっかり受け止めました。

研究協議は仙台高山口副会長、県第二工業阿部会長より発表後、県教育庁石塚様よりご助言頂きました。両校共に行事への参加率低迷や活動内容の充実などに腐心する中、地域との積極協働や情報共有の仕組みの工夫など新たな挑戦を始めており、会員相互で学び共有することができました。

当日は、日本テレビの取材カメラも入り（首都圏のみ放送済）運営スタッフも緊張の連続でしたが、閉会後のお見送りでは武澤氏を囲んでの記念撮影、お話しや講演依頼（！）まで、最後まで熱気と感動の余韻の残る研修会となりました。

ご参加頂いた皆様に御礼申し上げるとともに、開催に当たりご尽力頂いた皆様に改めて深く感謝申し上げます。

石巻支部

お腹も心も満たされました

支部長　須藤　幸枝（石巻好文館高）

石巻支部研修会は、11月25日（水）、65名の参加を得て石巻専修大学の森口記念館で開催されました。

午前の研究協議では、石巻工業高校、石巻西高校、そして石巻市立桜坂高校の３校にＰＴＡの取り組みや現状について発表して頂きました。石巻工業高校からは、特に総会をはじめとしたＰＴＡ行事の参加者数の低迷が報告されました。続いて石巻西高校から「会員研修」を「進路研修会」に改める等、行事の改変を試みたところ参加者数が大幅に伸びたという報告がなされました。最後に石巻市立桜坂高校から統合後の学校の様子を交えて、ＰＴＡ活動の現状について発表されました。指導助言の先生方からは、各校の取り組みに労いの言葉を頂くとともに他校の先進的な実践について紹介して頂きました。

午後の講演では、石巻専修大学経営学部の石原慎士教授に「地域資源と商品開発（地方大学における実践型教育の試み）」と題して、１時間30分にわたってご講演いただきました。東日本大震災で被災した石巻市の産業復興策として、ゼミ生と地元企業が試行錯誤を繰り返しながら「サバだしラーメン」・「カニだしラーメン」を開発した経緯が、試食とともに紹介され、会場はお腹も心も満たされる思いに包まれました。

最後に、ご参加ご協力いただきました皆様に感謝申し上げ、報告とさせて頂きます。

仙南支部

仙南支部会員研修会を振り返って

支部長　相原　正幸（大河原商業高）

仙南支部会員研修会は大河原商業高等学校体育館において200名を超える参加者の下、盛大に開催することができました。当日は、県高Ｐ連会長の嶺岸若夫様や事務局長の小笠原朋之様から激励のご祝辞を頂戴し、ＰＴＡ活動をさらに力強く推進しようという決意を新たに致しました。また、午前の部では東北放送株式会社取締役ラジオ局長の藤沢智子様から「しゃべってかだってコミュニケーション」という演題でご講演を頂き、言葉から伝わるコミュニケーションの重要性や宮城の言葉「いずい」と訛りに自信と誇りを持って生き抜いていくことの大切さを感じ取ることができました。昼食時には、大河原商業高校商業研究グループが開発した「みやぎぎゅぎゅっと弁当」や「ポテトチップス大河原の梅味」を食べながら大河原商業高校吹奏楽団の演奏を聞き和やかに過ごすことができました。午後は、白石高校、白石高校七ヶ宿校、角田高校、宮城農業高校のＰＴＡ会長より、それぞれ実情にあわせた素晴らしいＰＴＡ活動の取組みと活動の発表があり、指導助言では、大沼博之村田高校長と小松敦蔵王高校長から、「子ども・地域・自分の成長のため頑張ってほしい」と激励を頂きました。会員の退場の際には、大河原商業高校の生徒が制作した巨大なモザイクアートの前で記念写真を撮る各校の会員もいて大変思い出に残る研修会となりました。今回の研修会でお世話になりましたすべての方々に感謝申し上げます。

支部長校　佐藤充幸校長挨拶

仙北支部

ふるさと教育の大切さを痛感

支部長　渡邉　光夫（一迫商業高）

仙北支部指導者研修会は一迫ふれあいホールを会場に約60名の参加のもと開催されました。

第一部では、築館高校のＰＴＡ会長さんと生徒の皆さんから「築高芝桜プロジェクト」～笑顔の花を咲かせよう～と題して話題提供がありました。

「激励」高山広氏

このプロジェクトは、平成25年度の入学式で校長先生が式辞として話されたことをきっかけに１学年で「人のためプロジェクト」委員会を立ち上げ、地域と学校との関わりを大切にしたいという思いで始めたということでした。

プロジェクトを進める上で多くの課題もあったようですが、生徒が主体となり、保護者や地域の方々の協力も得て、学校周辺が芝桜できれいになり、地域の方々との交流が深めることができたと発表がありました。

プロジェクトの内容も素晴らしかったのですが、何よりも生徒の熱意が伝わってきました。ふるさとを愛する豊かな心が育まれていることを知ることができました。

第二部は、アクターディレクトライターの高山広さんによります「一人芝居　劇励」の公演がありました。高山広さんは、劇団養成所を経て活動されている方です。東日本大震災後は、各地で復興支援の公演活動をされています。公演では、日常にある物や牧場の牛などの「キモチ」を代弁し、汗びっしょりになりながら最後まで全力で演じられました。会場は笑いの渦で「高山ワールド」になり、あっという間の１時間半でした。

大崎支部

献血の重要性を再認識

支部長　三塚　　修（涌谷高）

大崎支部研修会は、「わくや天平の湯」小劇場を会場に、90名を超える会員の皆様の参加を得て開催されました。

開会行事の後、東北高Ｐ連青森大会と全国高Ｐ連岩手大会の報告をそれぞれ鹿島台商業高校、涌谷高校の役員よりいただき、続いて話題提供として田尻さくら高校、古川黎明高校から活発なＰＴＡ活動の様子を発表いただきました。

中川國利氏の講演風景

後半は宮城県赤十字血液センター所長の中川國利氏を講師にお迎えし、「元外科医のつぶやき」と題してご講演をいただきました。

氏は涌谷町のご出身で、長く外科医として活躍された方です。曰く「血液を使う立場から集める立場に変わった」現在とのことで、医療現場のお話や献血事業の概要などを、腹腔鏡の操作実演も交えながら分かりやすくお話しいただきました。中でも、輸血を待つ小さな子どものお話は参加者の涙を誘い、高校生を始め若者の献血協力者がどんどん減少している現況解説には危機感を覚えさせられました。「献血の重要さが認識できた。これからぜひ協力したい」「先生の『自分で納得できれば正解。最後に自分を評価するのは自分自身』という言葉が心に残った」等々、ご好評をいただきました。

ご多忙の中ご臨席賜りました県高Ｐ連事務局の三浦勇様をはじめ、ご出席いただきました会員の皆様、ご協力いただいた各校の事務局の先生方に心より御礼申し上げます。

本吉支部

高Ｐ連本吉支部の結束を強める

支部長　村上　佳市（気仙沼高）

平成27年度宮城県PTA指導者本吉支部研修会が、「地域に根ざした豊かな高校生活を支援するために」の研修テーマのもと、ご来賓として全国高等学校PTA連合会会長佐野元彦様、宮城県PTA連合会会長嶺岸若夫様、同連合会事務局長小笠原朋之様をお迎えし、「教育改革とPTA活動」の演題で佐野会長よりご講演をいただきました。ご多用中にもかかわらず、遠路遥々お越しいただいたことに参加者一同、感激するとともに佐野会長ご自身の子育て感を交えた、情熱とウイットに富んだご講演をいただき、今回参加した各校の関係者は今後のPTA活動に関わっていく上で大きな力を得たことと確信しております。

嶺岸県高P連会長には、笑顔あふれるユーモアに富んだご挨拶をいただくとともに、今年仙台で開催される第65回東北地区高等学校PTA連合会仙台大会への熱い参加依頼があり、本吉支部としてできる限りのご協力をしていきたいと、考えております。

全国高Ｐ連会長　佐野元彦氏

研修会の前日には、佐野会長はじめご来賓の皆様と、県高Ｐ連本吉支部役員による情報交換会が行われ、ＰＴＡ活動全般にわたる意見交換や被災地気仙沼市の現状と課題を語り合い、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。特に被災地気仙沼の現状と課題については子供たちが有意義な高校生活を送ることにとって、大変重要な事柄であり、今後も大いに情報発信していきたいと思います。少しでも子供たちの高校生活の一助になれるようこれからもPTA活動に取り組んで参ります。

●平成27年度第３回常任理事会報告

平成28年１月14日（木）13：30～宮城県青年会館にて開催された。平成27年度行事等の中間報告からその他まで九つの議案が報告・協議された。この中からいくつかをトピックスとして紹介します。

①「みやぎ高校ＰＴＡフェスティバル2016」

来年度は第65回東北地区高等学校ＰＴＡ連合会仙台大会が７月に開催されることから、「みやぎ高校ＰＴＡフェスティバル2016」はこの仙台大会と兼ねることとした。今後宮城県高Ｐ連が東北大会や全国大会を主管する年度のフェスティバルも同様とすることになった。なお、平成28年度に発表予定の学校については、平成29年度へ基本的にはスライドさせるが、あらためて各支部で話し合って決めることになった。

②宮城県高等学校ＰＴＡ連合会表彰規程一部改正について

これまで教職員は被表彰者から除かれていたが、「同一校でＰＴＡ事務局長を３年以上つとめ、功績があったと認められる者」という一行を加え、教職員も平成28年度から被表彰者とすることとした。

③全国高等学校ＰＴＡ連合賠償責任補償制度について

平成28年度から新たにこの制度に加入希望する学校は、平成28年３月11日（金）までに県連事務局へ申込手続きを行ってください。

④宮城県高Ｐ連ホームページが平成27年12月11日に誕生

アクセス件数が少ないと「宮城県高Ｐ連」で検索してもヒットしないとのことです。そこで、しばらくは次のＵＲＬからアクセスしてください。御協力をお願いします。

URL：http://www.miyagikopren.org/

なお、会報は７月・12月・２月に発行してきたのを、ホームページを随時活用することで、９月と２月の年２回にいたします。御理解ください。

発言する小松事務局長（気仙沼校）

●平成28年度から会費が値上げになります

平成27年６月１日に行われた平成27年度の総会で決定したとおり、全日制200円から300円に、定時制50円から80円にそれぞれ値上げになります。ご注意ください。

●第65回東北地区高等学校PTA連合会仙台大会

平成28年７月７日（木）

○研修視察「被災地は、今」オプショナルバスツアー
キリンビール㈱仙台工場と被災した地域をバスで見学
○江陽グランドホテルで「情報交換会」

７月８日（金）仙台サンプラザで大会開催

着々と準備進む。仙塩地区29校の会長・事務局長の方々にお集まりいただき、平成27年12月21日（月）パレスへいあんにて第１回実行委員会を開催しました。嶺岸会長から大会を成功させようと力強いあいさつがあり、仙塩地区29校にお願いする役割等が決まりました。約1,600名の参加者を見込んでいますが、本県からはその半数の800名以上参加していただけるものと期待しています。

平成28年度　みやぎ高Ｐ連　行事計画（案）　平成28年１月14日第３回常任理事会協議

月	日	県	東　北	全　国
4		東北大会第５回会長・実行委員長会議		
	28（木）	会計監査（県連事務局13時30分）		
5	12（木） 13（金）		第１回理事・総務委員合同会議 （仙台ガーデンパレス）	
	18（水）	第１回常任理事会兼東北大会第4回常任委員会 （青年会館・13時30分）		
		各支部総会		
6	2（木）	東北大会第２回実行委員会 総会、新年度役員会（パレスへいあん・13時）		
	15（水） 16（木）		東北地区総会・各委員会 （仙台ガーデンパレス）	
	23（木）	第１回各種委員会合同会議 （仙台ガーデンパレス・13時30分）		
	26（日）			全国高Ｐ連総会 （東京ガーデンパレス）
7	7（木） 8（金）		第65回東北地区高Ｐ連仙台大会 （江陽ＧＨ・仙台サンプラザ）	
	28（木）	生涯学習課主催県ＰＴＡ指導者中央研修会 （県庁２階講堂）		
8	25（木） ～26（金）			第66回全国高Ｐ連大会 千葉大会（幕張メッセ）
9	1（木）	第２回常任理事会（青年会館・13時30分）		
	16（金）		第１回総務委員会 （ホテル白萩）	
10	1（土） 2（日）			第１回全国高Ｐ連 会長・事務局長研修会（大阪）
11		各支部研修会		
12	2（金）		第２回総務委員会 （ホテル白萩）	
		単Ｐ事務局長研修会（大崎支部担当）		
1	6（金） 7（土）		第２回理事・総務委員合同会議 （仙台ガーデンパレス）	
	13（金）	第３回常任理事会（青年会館・13時30分）		
2	11（土） 12（日）			第２回全国高Ｐ連 会長・事務局長研修会（東京）
	15（水）	第２回各種委員会合同会議 （仙台ガーデンパレス・13時30分）		
その他		県高Ｐ連会報発行　　年２回　９月・２月 県高Ｐ連各委員会　　年４回（合同委員会２回、委員会毎開催２回）		